



文殊小学校だより

令和7年度 第15号
発行日 令和8年3月24日



令和7年度本校教育活動へのご支援、 ご協力ありがとうございました！

春の気配が文殊山を包み始めた3月10日（火）に卒業証書授与式が行われ、16名の卒業生が本校を巣立っていきました。これも保護者の皆様や地域の皆様のご協力、そして日々の温かい励ましのおかげであると、心より感謝申し上げます。

当日は来賓の方々や多数の保護者の皆様、在校生、教職員から祝福を受けて、卒業生からは晴れやかな笑顔が見られました。卒業生は足羽中と足羽一中にそれぞれ進学しますが、文殊小学校の卒業生であることを誇りに胸に、新たな一步を力強く踏み出してほしいと思います。

さて、本日で令和7年度の教育活動が修了します。この1年間、子どもたちは毎日笑顔で登校し、いろいろな活動に一生懸命取り組み、心も体も大きく成長しました。4月には新しい学年に進級しますが、これからも、さらなる成長を目指して、頑張ってくれることを期待しています。

また、私が昨年4月に本校に着任して早くも1年が経とうとしています。久しぶりに文殊小学校で過ごしたこの1年間は、改めて文殊っ子たちの素直さ、文殊地区の温かさや優しさを再確認した日々でした。世界の情勢は目まぐるしく変わってきていますが、いつまでも文殊っ子たちや文殊地区のよさが変わらず大切にされていくことを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様や地域の方々には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき改めて感謝申し上げます。来年度もよろしくお願いいたします。1年間、本当にありがとうございました。

（校長 櫻井 豊）



○令和7年度卒業証書授与式



16名の卒業生は、立派に成長して学び舎を後にしました。式では、これから新しい世界へ歩みを進める卒業生へ式辞という形でメッセージを送りましたので、その一部をご紹介します。

式 辞 (一部抜粋)

みなさんが小学校に入学した令和2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、それまでの学校生活を含めた日常が一変し、さまざまな制約のある社会になった年でした。福井市では入学式が5月29日に行われ、みなさんの小学校生活は、それまでとは違い、約2か月遅れてスタートしました。入学前に思い描いていた学校生活とは大きく異なるものになったと思います。そして私たちは、それまで当たり前だと思っていた日常が決して当たり前ではないことに気付かされたのでした。

奇しくも3月11日は、東日本大震災から15年の節目の日となります。この大震災では、大きな地震や津波によって非常に多くの人々の日常が奪われました。そのような中、大震災から十日後、避難所となっていたある中学校の体育館で卒業式が行われました。その際の卒業生代表の言葉の一部を紹介します。

**「自然の猛威の前には、人間の力はいくらにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていき
ました。天が与えた試練というにはむごすぎるものでした。しかし、苦境にあっても天を恨まず、
運命に耐え、助け合って生きていくことが、これからの私たちの使命です。」**

大切な家族や友人を亡くしたこの生徒は、涙ながらにこの言葉を述べましたが、その言葉からは、深い悲しみの中にあっても前へ進もうとする強い決意が伝わってきます。

また今年は、サッカーW杯がアメリカ・カナダ・メキシコの三か国の共催で行われます。日本代表チームもアジア予選を勝ち抜き出場しますが、その予選を通じて、これまでW杯に4回出場している長友佑都選手も常に代表に選ばれていました。しかし、ベンチ入りできる人数に限りがあるため、長友選手はいつもベンチ入りできませんでした。日本代表の森保監督は、いつもベンチから外れる長友選手のところへ行き、「今回も申し訳ない。」と謝罪するそうです。その際、長友選手が監督にいつも伝えている言葉を紹介しします。

「監督、謝らないでください。ベンチ入りできないのは、監督に“長友を試合で使いたい”と思わせるようなパフォーマンスができていない自分の責任です。監督にそう思わせられるよう、またしっかりトレーニングして、Jリーグで結果を残せるように頑張りますよ。」

この言葉からも、長友選手の前向きな姿勢が伝わってきます。

では、先ほどの「天を恨まず」と言った中学生と、「自分の責任」と言った長友選手に共通していることが分かりますか。

それは、二人とも“矢印が自分自身に向いている”ということです。私たちは、嫌なことやつらいことがあると、受け入れられず現実から逃げたり、何かのせいにしたりしてしまいがちです。誰かのせいや周りの環境のせいにすることは簡単ですが、そうではなく、自分の現実をしっかりと受け止め、「自分はどうかあるべきか」「自分はどうすればよいのか」を考え、前に進むために努力しようとする姿勢が大切なのです。これからみなさんは、新しい世界・新しい環境に進んでいきます。ときには壁にぶつかることもあると思います。そんなときこそ、矢印を自分に向け、謙虚に前を向いて進んでいけば、きっと新しい何かを見つけることができるはずです。

(中略)

卒業生の皆さん、卒業は小学校生活のゴールであると同時に、新しい世界へのスタートでもあります。文殊小学校の卒業生としての誇りを胸に、新しい歩みを始めてください。文殊山はいつでも皆さんを見守っていますよ。

祝 表彰

- ・ オザキ杯第43回福井県小学生バレーボール選抜新人戦県大会 準優勝
清水ジュニアバレーボールクラブ (5年)
- ・ オザキ杯第43回福井県小学生バレーボール選抜新人戦県大会 第3位
麻生津スポーツ少年団男子 (3年)

今後の主な行事予定

3月25日(水) 春休み(～4/7)

4月7日(火) 入学式準備(新5・6年登校)

4月8日(水) 新任式・始業式・入学式

4月10日(金) 給食開始(新2～6年)

